

# くすのき



西合志第一小学校  
学校だより 第15号  
文責 校長 西村羊治  
令和6年5月24日

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

## 菊池教育事務所・合志市教育委員会訪問

私は、臨時採用を入れて教職生活34年目になります。県立支援学校（1年）、公立中学校（7年）県立教育センター国内留学（1年）公立小学校（23年）宇城市教育委員会（2年）の経歴です。今は校長として合志市立西合志第一小学校に勤務させていただいております。また、地区をあげると多良木町、岱明町（玉名市）、宇土市、山鹿市、宇城市、合志市と違う市町で働かせていただきました。それぞれ教育関係として変わりはないのですが、



菊池教育事務所の先生方

校種が違ったり対応する児童生徒の実態が違ったり、地域性が違ったりで特に異動した年は慣れるまでに時間がかかります。また、県を退職して市の行政に入ったときは、現場とは全く違う世界を経験することができたし、自分自身の考え方が変わりました。



授業参観される事務所の先生方

今月の21日（火）に菊池教育事務所の先生方の巡回訪問がありました。また、23日（木）には合志市教育委員会の先生方の訪問がありました。正直、学校

教育現場だけの経験の時には、児童生徒の指導対応に苦慮したり、保護者との信頼関係づくりに苦慮したりすることがありました。

教頭ともなると市や県からの通知文の多さに疲弊していました。そして、行政に対して不満を持つ自分も正直いました。しかし、いざ自分が行政職を経験してみると現場とは違う大変さや難しさ、そして何より、行政の人達が学校現場のことを考えて、精一杯頑張っておられることを目の当たりにしました。教育行政の方々が学校現場のことを思い、いろいろなことを考え苦慮しながら、現場の児童生徒達のため、保護者のため、各学校の職員のために予算取りをしたり、議会对応をしたり、数十ページに及ぶ書類を時間をかけて作ったり等、業務内容は学校現場とは違いますが、同じように子ども達のために努力されていることが、よくわかりました。



米澤教頭からの説明

この行政での経験が、私の視野を広くしました。県教育事務所や県市町教育委員会の方々のおかげで、学校現場で子ども達と一緒に過ごせる幸せや、ありがたさを考えることができるようになりました。

今回の訪問で、私は助言いただいたことを真摯に受け止め、子ども達のために学校のリーダーとして、頑張っていく責任があると思っています。今回お忙しい中に、わざわざ訪問いただいた菊池教育事務所や合志市教育委員会の方々、本当にありがとうございました。

西合志第一小学校で、必要な共通理解・共通実践を職員一同でやっていきます。



合志市教育委員会の方々